

広島電鉄株式会社の呉市域バス路線及び呉市生活交通の令和2年度収支状況並びに呉市生活バスの再編等について(報告)

1 広島電鉄株式会社の呉市域バス路線の令和2年度収支状況

(1) 現 状

令和2年度(補助対象期間:令和元年10月1日から令和2年9月30日まで)における広島電鉄株式会社(以下「広島電鉄」といいます。)の実車走行キロ数は約326万キロメートル、乗車人数は約590万人となっています。

次に、令和2年度の収支状況については、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少により運賃収入が減少したことなどから、経常収益は約13億6千万円、経常費用は約19億円で、約5億4千万円の赤字となっています。

(2) 業務量状況

区 分		令和2年度 (R1.10.1~R2.9.30)	令和元年度 (H31.4.1~R1.9.30)
在籍車両数(乗合)	両	88	107
路 線 数	路線	9	11
実車走行キロ(乗合)	km	3,260,109.1	2,001,558.9
乗車人数	定期外	4,675,052	3,047,790
	定 期	1,211,221	802,382
	合 計	5,886,273	3,850,172
収支状況	経常収益	1,356,580	860,975
	経常費用	1,896,749	1,041,813
	経常収支	△ 540,169	△ 180,838

※令和2年度の経常収益には、新型コロナウイルス感染症対策取組事業者に対する支援給付金等(82,700千円)は含んでいません。

(3) 路線別収支（経営支援補助金）状況等

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少により運賃収入が減少したことなどから、全ての路線が赤字路線となり、経営支援補助金は、約4億9,540万円となりました。

(単位：人、千円)

区分	令和2年度 (R1.10.1~R2.9.30)							令和元年度 (H31.4.1~R1.9.30)								
	乗車人数 ①	経常収益 (a)	経常費用 (b)	経常収支 (c) ((a)-(b))	経常 収支率 (a) / (b)	経常費用 + 適正利潤 (d)	経営支援 補助金 (算出額) ③ (d)-(a)	乗車人数 ②	経常収益 (a')	経常費用 (b')	経常収支 (c') ((a')-(b'))	経常 収支率 (a') / (b')	経常費用 + 適正利潤 (d')	経営支援 補助金 (算出額) ④ (d')-(a')		
1 宮原線	654,429	119,812	159,451	△39,639	75.1%	162,640	42,828	381,231	65,945	71,282	△5,337	92.5%	72,708	6,763		
2 阿賀音戸の瀬戸線	路線廃止（生活交通へ移管）							309,735	67,774	99,713	△31,939	68.0%	101,707	33,933		
3 呉倉橋島線	1,117,350	303,542	427,331	△123,789	71.0%	435,878	132,336	462,729	143,528	183,718	△40,190	78.1%	187,392	43,864		
4 広長浜線	路線廃止（生活交通へ移管）							189,023	38,521	52,083	△13,562	74.0%	53,125	14,604		
5 吉浦天応線	641,339	124,108	215,367	△91,259	57.6%	219,674	95,566	373,518	69,526	96,320	△26,794	72.2%	98,246	28,720		
6 広仁方線 (旧仁方川尻線)	946,980	196,458	258,625	△62,167	76.0%	263,798	67,340	568,671	118,898	136,198	△17,300	87.3%	138,922	20,024		
7 郷原黒瀬線	698,990	174,077	278,201	△104,124	62.6%	283,765	109,688	403,898	97,702	124,262	△26,560	78.6%	126,747	29,045		
8 辰川線	189,211	28,845	32,733	△3,888	88.1%	33,388	4,543	113,977	16,670	14,620	2,050	114.0%	※黒字のため補助対象外			
9 長の木長迫線	404,232	61,625	74,689	△13,064	82.5%	76,183	14,558	241,057	34,290	33,646	644	101.9%	※黒字のため補助対象外			
10 三条二河宝町線	90,321	14,091	39,728	△25,637	35.5%	40,523	26,432	56,520	8,171	17,854	△9,683	45.8%	18,211	10,040		
11 焼山熊野苗代線	1,143,421	334,022	410,624	△76,602	81.3%	418,836	84,814	749,813	199,950	212,117	△12,167	94.3%	216,359	16,409		
小計(A)	5,886,273	1,356,580	1,896,749	△540,169	71.5%	1,934,685	578,105	3,850,172	860,975	1,041,813	△180,838	82.6%	1,013,417	203,402		
黒字路線	なし							—	—	2路線	50,960	48,266	2,694	105.6%	—	—
赤字路線	9路線	1,356,580	1,896,749	△540,169	71.5%	1,934,685	578,105	9路線	810,015	993,547	△183,532	81.5%	1,013,417	203,402		
新型コロナウイルス感染症関連支援金(B)※								82,700								
経営支援補助金(交付額)(A-B)								495,405	経営支援補助金(交付額)(A-B)							203,402

※新型コロナウイルス感染症関連支援金は、各路線の経常収益には含めず、一括して別枠（(B)欄）に記載しています。

2 呉市生活交通の令和2年度収支状況

(1) 現 状

旧合併町4地区（下蒲刈，川尻，倉橋及び安浦）及び広島電鉄が路線退出した路線において，市民生活に不可欠な公共交通を確保するため，地元交通事業者等に対し，生活バスの運行を依頼しています。

また，吉浦及び警固屋地区においては，地域住民が主体となり，地域の移動ニーズに即した形態で乗合タクシーが運行されています。

令和2年度については，新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少により運賃収入が減少したことなどから，全体的に経常収支率が悪化しています。

(2) 路線別収支（運行負担金）状況等

ア 呉市生活バス

(7) 合併町地域及び平成26年10月移管路線

(単位：人，千円)

区 分	令和2年度							令和元年度							対前年度比較				
	人口	乗車人数 ①	経常収益 (a) ※2	経常費用 (b)	経常収支 (c) ((a)-(b))	新型コロナ ウイルス感 染症対策 関連支 援金 (d)	運行 負担金 (c)+(d) 〔うち県 補助〕 ③	経 常 収 支 率 (a) / (b)	人口	乗車人数 ②	経常収益 (a)	経常費用 (b)	経常収支 (c') ((a)-(b))	運行 負担金 〔うち県 補助〕 ④	経 常 収 支 率 (a) / (b)	乗車人数 ①-②	経常収支 (c)-(c')	運行 負担金 ③-④	
1 下蒲刈	1,322	3,764	451	12,899	△12,448	250	12,198 [0]	※1 5.6%	1,369	7,668	961	13,543	△12,582	12,582 [0]	※1 9.9%	△ 3,904	134	△384 [0]	
2 川尻	8,086	9,890	1,138	15,174	△14,036	455	13,581 [0]	※1 9.9%	8,224	11,307	1,261	14,065	△12,804	12,804 [0]	※1 12.0%	△ 1,417	△1,232	777 [0]	
3 倉橋	4,903	30,216	7,935	31,982	△24,047	900	23,147 [4,843]	24.8%	5,026	36,513	9,389	33,332	△23,943	23,943 [4,878]	28.2%	△ 6,297	△104	△796 [△35]	
4 安浦	10,151	23,946	3,430	24,287	△20,857	900	19,946 [2,659]	※1 17.5%	10,360	33,499	4,107	28,983	△24,876	24,876 [3,441]	※1 20.9%	△ 9,553	4,019	△4,930 [△782]	
5 音戸	10,970	32,771	6,667	26,334	△19,667	420	19,247 [617]	25.3%	11,235	31,875	6,299	23,214	△16,915	16,915 [616]	27.1%	896	△2,752	2,332 [1]	
6 広	45,332	横路	36,310	4,692	19,740	△15,048	600	14,448 [700]	23.8%	46,015	46,876	6,848	22,243	△15,395	15,395 [1,132]	30.8%	△ 10,566	347	△947 [△432]
7		白石白岳	73,536	11,578	22,042	△10,464	600	9,864 [1,087]	52.5%		79,488	12,607	24,659	△12,052	12,052 [1,079]	51.1%	△ 5,952	1,588	△2,188 [8]
8	32,531	北コース	54,600	11,451	26,319	△14,868	520	14,348 [359]	43.5%	32,938	58,677	9,567	25,093	△15,526	15,526 [484]	38.1%	△ 4,077	658	△1,178 [△125]
9 昭和		中央コース	67,764	8,829	20,807	△11,978	480	11,498 [1,115]	42.4%		77,220	10,381	19,401	△9,020	9,020 [1,111]	53.5%	△ 9,456	△2,958	2,478 [4]
10		南コース	38,362	6,918	15,960	△9,042	250	8,792 [1,003]	43.3%		42,437	8,204	19,857	△11,653	11,653 [999]	41.3%	△ 4,075	2,611	△2,861 [4]
合計	113,295	371,159	63,089	215,544	△152,455	5,375	147,069 [12,383]	—	115,167	425,560	69,624	224,390	△154,766	154,766 [13,740]	—	△ 54,401	2,311	△7,697 [△1,357]	

※1 パスपीシステムが未導入の路線（下蒲刈，川尻及び安浦）について経常収支率を算出する際は，経常収益に優待負担金相当額を加算して計算しています。

※2 令和2年度の経常収益には，新型コロナウイルス感染症対策取組事業者に対する支援給付金等は含んでいません（（d）欄に記載しています。）。

(イ) 令和元年10月移管路線

(単位：人、千円)

路線名	令和2年度 (R2. 4. 1～R3. 3. 31)							令和元年度 (R1. 10. 1～R2. 3. 31)						
	乗車人数	経常収益 (a) ※	経常費用 (b)	経常収支 (c) ((a)-(b))	新型コロナウイルス感染症対策関連 連支援金 (d)	運行 負担金 ((c)+(d) 〔うち県補 助〕	経常 収支率 (a) / (b)	乗車人数	経常収益 (a)	経常費用 (b)	経常収支 (c) ((a)-(b))	運行 負担金	経常 収支率 (a) / (b)	
1 呉苗代下条線	54,551	9,943	17,156	△7,213	500	6,713 〔1,580〕	58.0%	33,201	5,773	8,895	△3,122	3,122	64.9%	
2 北原神山峠線	3,776	661	16,337	△15,676	400	15,276 〔0〕	4.0%	2,338	388	8,410	△8,022	8,022	4.6%	
3 見晴町線	28,167	5,149	14,570	△9,421	400	9,021 〔701〕	35.3%	16,527	2,925	7,365	△4,440	4,440	39.7%	
4 阿賀音戸の瀬戸線	134,607	29,642	86,422	△56,780	1,200	55,580 〔5,030〕	34.3%	79,237	13,531	42,810	△29,279	29,279	31.6%	
5 広長浜線	120,322	21,780	75,787	△54,007	1,345	52,662 〔3,194〕	28.7%	73,143	11,051	36,493	△25,442	25,442	30.3%	
6 仁方小須磨線	7,755	921	17,484	△16,563	250	16,313 〔0〕	5.3%	6,568	802	9,770	△8,968	8,968	8.2%	
7 広川尻線	91,241	15,681	48,250	△32,569	1,150	31,419 〔3,304〕	32.5%	50,317	9,970	19,911	△9,941	9,941	50.1%	
8 田原藤の脇線	71,591	16,701	58,656	△41,955	1,430	40,525 〔3,994〕	28.5%	46,919	9,268	27,424	△18,156	18,156	33.8%	
合計	512,010	100,478	334,662	△234,184	6,675	227,509 〔17,803〕	—	308,250	53,708	161,078	△107,370	107,370	—	

※令和2年度の経常収益には、新型コロナウイルス感染症対策取組事業者に対する支援給付金等は含んでいません（(d)欄に記載しています。）。

イ 乗合タクシー

(単位：人、千円)

区分	令和2年度								令和元年度						対前年度比較			
	人口	乗車人数 ①	経常収益 (a) ※	経常費用 (b)	経常収支 (c) ((a)-(b))	新型コロナウイルス感染症対策関連 連支援金 (d)	運行 負担金 〔うち県補 助〕③	経常 収支率 (a) / (b)	人口	乗車人数 ②	経常収益 (a)	経常費用 (b)	経常収支 (c') ((a)-(b))	運行 負担金 〔うち県補 助〕④	経常 収支率 (a) / (b)	乗車人数 ①-②	経常収支 (c)-(c')	運行 負担金 ③-④
1 吉浦地区 (あじさい号)	9,899	17,126	2,714	7,699	△4,985	300	4,100 〔702〕	35.3%	10,111	19,590	3,013	7,847	△4,834	4,100 〔707〕	38.4%	△ 2,464	△151	0 〔△5〕
2 警固屋地区 (おでかけバス)	4,321	1,664	247	3,278	△3,031	150	1,800 〔0〕	7.5%	4,532	2,110	302	3,202	△2,900	1,800 〔0〕	9.4%	△ 446	△131	0 〔0〕
合計	14,220	18,790	2,961	10,977	△8,016	450	5,900 〔702〕	—	14,643	21,700	3,315	11,049	△7,734	5,900 〔707〕	—	△ 2,910	△282	0 〔△5〕

※令和2年度の経常収益には、新型コロナウイルス感染症対策取組事業者に対する支援給付金は含んでいません（(d)欄に記載しています。）。

3 呉市生活バスの再編等について

将来にわたり公共交通を維持・確保するため、令和元年度から取組を進めている呉市生活バスの再編等について、各地区におけるこれまでの取組内容等については、次のとおりです。

(1) 安浦地区生活バス【令和2年10月1日再編実施】

ア 再編までの取組

- 令和元年10月 乗込調査の実施（10月21日（月）及び23日（水））
生活バス利用者へのアンケート調査の実施（10月15日から11月14日まで。延べ56人）
- 令和2年 1月 第1回安浦地区生活バスの見直しに関する住民意見交換会の開催（1月17日（金）17人参加，18日（土）10人参加）
- 2月 第2回安浦地区生活バスの見直しに関する住民意見交換会の開催（2月28日（金）20人参加，29日（土）11人参加）
- 7月 安浦地区生活バスの見直しに関する住民説明会の開催（7月4日（土）51人参加）
呉市安浦地区生活バス運行事業者選定プロポーザルの実施
- 8月 呉市生活交通運行事業者選定委員会の開催（8月6日（木））
- 9月 安浦地区生活バスの利用に関する住民説明会の開催（9月5日（土）55人参加）
- 10月 運行開始（運行事業者：富士交通株式会社）

イ 再編内容

再編の内容は、次のとおりです。

- (ア) 車両の小型化（安浦小学校及び安浦中学校への通学対応のため、別途、スクールバスを運行）
- (イ) マイクロバスと小型車両の計2台による運行（再編前4台運行）
- (ウ) 小型車両による一部地域でのデマンド運行の導入
- (エ) 起終点を安浦駅に変更

ウ 再編後の利用状況

再編後の半年間の利用状況について、前年度との比較は次のとおりですが、スクールバス対応及び新型コロナウイルスの影響による減少分を除くと、利用についての大きな増減はない状況となっています。

【利用状況比較】

令和元年度（10月～3月） ① ※	令和2年度（10月～3月） ②		対前年度比較 ②-①
		（うち デマンド）	
16,730人	9,941人	150人	△6,789人
11,580人			△1,639人

※「令和元年度（10月～3月）」欄の上段は総数で、下段は安浦小学校及び安浦中学校の通学定期券利用の児童・生徒数を除いた人数となっています。

エ 今後の取組

安浦地区生活バスの利用について、地元・運行事業者と連携し、利用促進に努めるとともに、より利用しやすいものとなるよう、今後も改善を続けていきます。

(2) 下蒲刈地区生活バス【令和3年4月1日再編実施】

ア 再編までの取組

- 令和元年11月 下蒲刈町の全世帯を対象にした「下蒲刈地区生活バスに関するアンケート」の実施
(11月12日(火)から12月10日(火)まで)
配布数：660世帯・1,320枚,回収数(回収率)：304枚(23.0%),協力：呉工業高等専門学校
- 令和2年 7月 アンケート結果の全世帯配布
10月 実証実験の案内を全世帯に配布
車両の小型化実施
11月 実証実験実施(デマンド運行(下島地区),フリー乗降(大地蔵地区),乗り放題運賃(定額運賃))
12月 実証実験に対するアンケートの実施
配布数：660世帯,回収数(回収率)：46枚(7.0%)
- 令和3年 2月 令和3年4月からの運行についての案内を全世帯に配布
4月 運行開始(運行事業者：ひまわり交通株式会社)

イ 再編内容

再編の内容は、次のとおりです。

- (ア) 路線定期運行の継続(デマンド運行の導入はなし)
- (イ) バス停の新設(2か所：「下蒲刈病院」及び「コメリ」)
- (ウ) フリー乗降の実施(大地蔵地区)
- (エ) 利用実態に応じた運行便数の適正化(平日▲4便(22便→18便),土休日▲16便(16便→0便))

ウ 今後の取組

利用者の大半が大地蔵地区の住民であることから、今後、当該地区の住民との意見交換を行いながら、利用促進に努めるとともに、より利用しやすいものとなるよう、今後も改善を続けていきます。

(3) その他の地区

令和2年度に「呉市生活バス路線等検討業務(受託者：株式会社バイタルリード)」を実施し、安浦地区及び下蒲刈地区以外の地区について、現状のデータ整理、乗降データの分析などを行い、各地区の実情に応じた生活バス路線の見直しの方向性の検討を行いました。なお、川尻地区の川尻地区生活バスについては、経常収支率が路線維持基準の15%を下回っていることから、同業務の中で先行して見直しに着手しました。

ア 川尻地区【川尻地区生活バス】

(ア) 現状

- a 運行事業者 有限会社野呂山タクシー
- b 路線数 1路線2系統
- c 運行回数 平日11便,土曜日8便(日曜日,祝日,年末年始(12月29日~1月3日)は運休)
- d 運賃 1乗車170円(小学生以下90円)

e 利用状況等

	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2
利用者数 (人)	1 2, 8 2 2	1 2, 6 8 2	1 1, 8 3 8	1 1, 3 0 7	9, 8 9 0
便当たりの平均利用者数 (人/便)	2. 1	2. 1	1. 9	1. 9	1. 6
呉市負担額 (千円)	1 1, 1 2 1	1 1, 8 1 8	1 2, 2 3 9	1 2, 8 0 4	1 3, 5 8 1
経常収支率 (%)	1 3. 6	1 2. 1	1 0. 6	1 2. 0	9. 9

(イ) 取組内容

令和2年11月 乗込調査の実施 (11月16日 (月), 18日 (水) 及び21日 (土))
 生活バス利用者へのアンケート調査の実施 (11月9日 (月) から12月8日 (火) まで。延べ51人)
 令和3年 2月 川尻地区生活バスの見直しに関する住民意見交換会の開催 (2月13日 (土) 50人参加 (小用地区住民を対象))

(ウ) 今後の予定

今後、意見交換会での意見を踏まえた見直しの方向性案について、住民説明会を実施し、令和3年度中の再編に向け、運行事業者と連携し、取組を進めていきます。

イ その他の地区

令和3年度以降、順次、各地域での意見交換会を行い、取組を進めていきます。

4 今後の路線バス及び生活交通に関する取組方針

路線バスにおいては、住民の利便性の向上や効率的・効果的な路線運営の実現について、引き続き広島電鉄と協議・検討を進めてまいります。

また、生活交通においては、本年度以降、順次、各地区で地元の意見を取り入れながら、地域の実情やニーズ、利用実態に応じた運行形態や運行路線への見直しなどを行い、持続可能な生活交通の実現に向け取り組んでいきます。